

●2000年2月7日

抗CD23抗体の第 I 相臨床試験開始について

生化学工業と米国アイデック・ファーマシューティカルズ(IDEC社)が共同研究開発を進めております、抗CD23抗体について、この度、IDEC社がIND申請(米国の臨床試験開始時申請)を行い、アレルギー性喘息を適応症とした米国における第 I 相臨床試験を開始しました。

生化学工業は、1994(平成6)年にIDEC社と、抗CD23抗体の共同研究開発契約を締結し、IDEC社が米国、生化学工業が欧州、アジア地域における開発・販売権を有しております。更に1998(平成10)年11月に、生化学工業は大正製薬と欧州、アジア地域における開発販売提携契約を締結いたしました。

抗CD23抗体は、IDEC社が霊長類化抗体(ヒト・サルのキメラ)“Primatized Antibody”技術を活用して作製した、アレルギー性喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性疾患、その他アレルギー性疾患の治療薬として期待されている物質です。本抗体は、アレルギー症状の引き金となる免疫グロブリン(IgE)の産生を調節する因子・CD23に結合し、他の免疫グロブリンの産生に対しては影響が無いことから、特異的アレルギー治療薬となる可能性をもちます。

アレルギー性疾患の患者数は年々増加しておりますが、その確固たる治療法は未だ開発されておらず、本抗体の研究開発はアレルギー性疾患の根本的な治療法の開発となる可能性があるものと考えております。今回の米国での第 I 相臨床試験開始により、抗CD23抗体の医薬品としての安全性、認容性、薬物動態等が評価されることとなり、今後の欧州、アジア地域での開発促進にも寄与するものと期待しております。

アイデック・ファーマシューティカルズ社

設立：1985年

社長：ウィリアム H.ラステッター

本社：米国カリフォルニア州サンディエゴ